



らんどせる

= 港小のスローガン =

- 「元気」 みんな元気に
- 「本気」 なにごとも本気で
- 「勇氣」 とともに勇気をもとう

港小学校 学校だより 令和3年12月13日



〇6年生の意気込みです／本気

全校集会(放送)では、子どもたちの意見発表をしてもらっています。これまでの全校集会でも3年生・4年生・5年生の子たちが発表してくれましたが、今回は6年生です。最高学年としての意気込みが伝わってきます。

私は、後期にがんばりたいことが二つあります。一つ目は、行事です。今年は新型コロナウイルスの影響で中止になってしまった行事がたくさんあります。それでも、修学旅行や港っ子スポーツデーのように先生たちがコロナ対策をして新しい形で行事が行えるようにしてくれています。港小学校での残り少ない行事を楽しみながら、一生懸命行っていきます。二つ目は、委員会活動です。私は本を読むことが好きなので、図書委員会に入りました。最近はコロナの影響で図書室を開けることができていません。でも、クラスなどで図書室を利用することがあります。そのとき、「図書室楽しいな」「また行きたいな」と思ってもらえるように、本の紹介カードを工夫してかざりたいです。港小学校のみんながいろいろなコーナーに行って本を読んでくれるようにがんばります。3月に気持ちよく、悔いなく港小学校を卒業できるように、残り半年間を大切に過ごしていきたいです。

<6年1組 小川 穂乃花>

僕は、低学年の子に「あの人のあそこが良かったから真似してみよう」と思ってもらえる後期にしたいです。そう思ってもらうためにどうしたらいいか考えました。しばらく考えて2つの方法を思いつきました。一つ目が、単純にいいことをすることです。そのいいことは、小さないいことをたくさんやればいい印象になって真似てもらえるようになると思ったからです。二つ目は、優しく接することです。そうすれば優しくするところを真似してもらえると思ったからです。この作文を書いている、今までは低学年の子にはあまり話していなかったけど、少しずつ仲良くなって話してみようかなと思ったり、もっとくつをきれいにしまったりするなど、い

いことをこつこつやってみようかなと思うきっかけになりました。

<6年2組 松原 廉>

残りの小学校生活があと五か月になりました。そこで、卒業に向けて頑張りたいこと、やりたいことを考えました。たくさんあるので、その中の二つを発表します。一つ目は、苦手な算数と英語を少しでもいいから得意にすることです。特に算数は、中学校の数学の基礎になります。中学校で遅れを取らないように、今のうちに少しでも苦手なところをこくふくするため、勉強をがんばりたいです。二つ目は、自分の特技を見つけることです。中学校に入ると部活が始まります。運動部や文化部など、種類がたくさんあると聞きました。そのために、自分からいろいろなことに挑戦し、特技を見つけてそれを使える部活に入りたいです。そして、この港小学校での時間を大事に使い、くいなく卒業できるように過ごしていきたいです。

<6年3組 鈴木 結菜>

〇おめでとうございます

第41回高浜市選抜少年野球大会・ラビットボーイズ結成45周年記念大会が行われました。この大会には、県内各地から31チームが参加し、3日間の熱戦を繰り広げました。その結果、ラビットボーイズAチームの皆さんが見事優勝しました。おめでとうございます。

